

一般質問



塚本よしひろ 議員 (公明)

中小企業支援について

①区内の中小企業の⑦雇用現況を示す指標となるものは、①雇用環境に対する区の認識は、②区内中小企業の求人情報と城南職業能力開発センター卒業生の間を取り持つ仕組みを強化し、採用が進まない区内中小企業を支援すべきで、③若者就業体験事業に建設業界も加えては、④中小企業が知的資産を見える化することは、区が実施する中小企業支援に資するものと考え、⑤今後の事業所

内保育について⑦展望や支援のあり方は、①子ども・子育て支援新制度のもと、新たな枠組みを検討するなど積極的な取り組みを望むが、所見を、**地域振興事業部長** ①⑦有効求人倍率だ、①求職状況は好況だが、求人側の区内中小企業は非常に厳しいと認識している。②城南職業能力開発センターと合同就職面接会等を共催しており、今後も区内中小企業の人材確保について連携を強めていく。③



本会議傍聴(山中小学校)

体験事業で採用に至った企業は19社で建設業も2社含まれている。④平成23年度から特許等の知的財産取得費助成や専門相談を行ってきた。今後は更に知的財産の見える化を進め、経営力強化を促進する。**健康福祉事業部長** ①⑦過去2回ほど緊急対応した。①年齢の違いや様々な障害の状況に対応するための体制整備等だ。②⑦様々な障害に対応するための環境整備が必要だ。③現状では難しい。③協力医療機関への入院を経て状態が改善しない場合には、医療体制の整った施設等へ入所いただく。④今後研究していく。

区民の健康づくりと歯・口腔ケアについて

①しながら健康プラン21の骨子案で、歯と口の健康を保つという個別目標をあげているが、歯と口の健康を保つことが健康づくりとどう関係があると考えられるのか。②在宅高齢者の訪問歯科診療を充実するため、介護など他職種との情報連携、必要機器の準備等を組織的に担う仕組みと拠点が必要と考えるが、所見を。**区長** ①近年、歯周病を治療すると血糖値がコントロールしやすくなる等の報告がある。歯と口の健康保持が生活習慣病等、全身の健康に大きな影響を及ぼすこと等を掲載予定だ。②医療連携検討部会で情報共有をしている。訪問歯科診療の現状と課題を確認し、今後の可能性を検討する。

障がい者の入所施設と医療ケアについて
①小規模多機能型居宅介護施設での障がい児(者)の受け入れについて⑦実績は、①課題は、②特養ホームでの障がい児(者)の短期入所受け入れにあたり⑦施設側に必要

な準備等は、①胃ろう等の医療行為は障がい児(者)にも実施可能か。③施設入所者へ日常的な医療行為が必要となつた場合の対応は、④将来的に区内障がい者入所施設での医療ケアをどのようにしていくのか。**健康福祉事業部長** ①⑦過去2回ほど緊急対応した。①年齢の違いや様々な障害の状況に対応するための体制整備等だ。②⑦様々な障害に対応するための環境整備が必要だ。③現状では難しい。③協力医療機関への入院を経て状態が改善しない場合には、医療体制の整った施設等へ入所いただく。④今後研究していく。

区政における今後のICT活用について

①がん検診に遠隔画像診断を導入すれば、検診施設に複数の読影医を置かず二重読影ができ、検診日時の拡充等がしやすくなるかと考えるが、⑦遠隔画像診断が行われない理由は、①必要な対応を、②都が進めるWiFi環境を区有施設や商店街等で整備すれば、①一度の登録で幅広くサービス提供ができるのでは、③広報媒体の選択肢にデジタルサイネージを加えては、**副区長** ①⑦セキュリティ確保や個人情報保護に課題があり、慎重に検討していく。なお、肺がん検診は二重読影できる区内21医療機関で実施している。②訪日外国人向けWiFi接続アプリとの連携は有用と考えており、展開ができるか検討していく。③引き続き検討を進めていく。

品川区内における発電と省エネルギーについて
①再生可能エネルギー発電と省エネの基本的な考え等は、②エネルギー地産地消の考えは、③太陽光発電システム助成事業について⑦家庭用の助成数が減少した理由は、①事業者用の助成が3年で26件程



大倉たかひろ 議員 (民・改)

アンガーマネジメントについて

①怒りをコントロールすることを学ぶアンガーマネジメントについて⑦校長への研修や他自治体の実践例への評価等は、①一般教員への研修を、②職員への研修の目的は、③区民が学ぶ利点は、④PTAが、子どもと一緒に研修を行えるような機会を設けては、**教育次長** ①⑦教員の体罰防止効果や自他を尊重する態度の育成に有効と考える。④費用負担等の課題があるが、研究する。⑤人材育成に生かすことだ。⑥子育て等で効果が期待できる。⑦PTA連合会に提案の趣旨を伝えていく。

特殊詐欺について

①品川区の被害件数と推移は、②他自治体と比較しての特徴は、③課題は、④特殊詐欺根絶オール東京プロジェクトの進捗状況は、⑤関係機関との連携は、⑥子どもの力をかりた啓発活動を、⑦子どもが加害者にならないための教育を、⑧未成年が受け子の誘いを受けた場合の相談窓口は、⑨「迷惑電話チェッカー」等の導入を検討しては、⑩銀行の行員等への研修は、振り込め詐欺防止に有効ではないか。**地域振興事業部長** ①平成24年が107件、25年が77件、26年10月末までの累計が59件で、前年同期と比べ11件のマイナースタ。②他区同様、オレオレ詐欺の被害件数が最も多い。③手口の多様化により絞った対策が取りにくい。④各自治体で効果を上げている施策をとりまとめる予定だ。⑤年2回、警察署や町会等で構成する生活安全協議会を開催している。⑥小学生によるわんぱくパトロール隊が広報活動をしている。⑦セーフティ教室などで注意を呼びかけている。⑧学校の目安箱等の利用を周知し、相談の際には教育委員会が関係機関と連携し対応する。⑨都の動向を注視しており、効果を上げている。

羽田空港の機能強化について
①検討されている内容は、②今後のスケジュールは、③区民生活への影響は、④羽田空港近隣への騒音の影響等は、⑤騒音の監視は区が行うのか、⑥騒音が基準以上の際には、国に補償等を求めている。⑦時間ごとにルートがかわる空港への説明を国に要望しては、⑧都心ルート新設に対し、区は国に要望や意見ができるのか、⑨外国人観光客増加に伴う取り組みの検討を。**都市環境事業部長** ①品川区も含めた内陸部上空も活用した飛行経路で、空港機能の強化を図るものだ。②国から提示されていない。③騒音の影響等を考えている。④基準を上回る騒音が想定されるのは八潮二丁目等の一部だ。⑤事業者や国の責任で実施されるべきと考える。⑥状況に応じて求めていく。⑦国内で初となる。⑧既に行った。⑨都や関係区市連絡会等で申し入れ等を行う。⑩観光協会と連携し品川の魅力を発信していく。